

件名 令和8年度 ウポボイ誘客促進業務
 特定企業名 株式会社電通北海道
 住所 札幌市中央区大通西5-11-1
 代表者 代表取締役 木村 平
 決定日 令和8年6月22日

評価項目	評価の着目点			判断基準	評価のウェイト	株式会社電通北海道				A社				B社			
						①	②	③	平均	①	②	③	平均	①	②	③	平均
業務実績	過去10年間の同種又は類似業務の実績の内容・件数 同種業務:北海道、公益社団法人北海道観光機構、公益財団法人アイヌ民族文化財団が発注したウポボイ誘客促進に関する業務 類似業務:観光に関する調査業務			企業の同種又は類似業務の実績は、企画競争参加資格の要件を確認に用いるものであり、これらを満たさない者の企画提案書の特定は行わない。	数値化しない	-				-				-			
ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標の適合状況	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律等に基づく認定の有無			女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定等(えるぼし・プラチナえるぼし認定企業等)、次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみん、プラチナくるみん、トライくるみん認定企業)及び青少年の雇用の促進等に関する法律に基づく認定(ユースエール認定企業))を受けている場合は優位に評価する。 ※複数の認定等が該当する場合、最も配点が高い区分により加点する。	5	4				4				3			
業務実施体制	業務分担及び業務実施体制の妥当性			業務実施に必要な分担が的確に記載されている場合、優位に評価する。 なお、下記に該当する場合は特定しない。 (1) 業務の分担構成が不明確又は不自然な場合。 (2) 再委託の内容が主たる部分の場合、再委託の理由が記載されていない場合又は不明確な場合。 (3) 記載がない場合。	10	10				10				10			
予定管理技術者の経験及び能力	専門技術力	業務執行技術力	過去10年間の同種又は類似業務の実績の内容	下記の順位で評価する。 (1) 平成28年度以降に同種業務の実績がある。 (2) 平成28年度以降に類似業務の実績がある。 (3) (1)(2)以外	①10 ②5 ③特定しない	5				5				5			
予定担当技術者の経験及び能力	専門技術力	業務執行技術力	過去10年間の同種又は類似業務の実績の内容	下記の順位で評価する。 (1) 平成28年度以降に同種業務の実績がある。 (2) 平成28年度以降に類似業務の実績がある。 (3) (1)(2)以外	①5 ②2 ③特定しない	5				5				5			
ヒアリング	専門技術力	専門技術力の確認		実績として挙げた業務の担当分野に中心的・主体的に参画したことがうかがえる場合に優位に評価する。	①10 ②5 ③0	10	10	5	8.3	10	10	10	10.0	10	10	10	10.0
	取組み姿勢	業務への取組み意欲		業務の着眼点・実施方針が適切で、業務に対する質問もあり、取組み意欲が強く感じられる場合に優位に評価する。	①10 ②5 ③0	10	10	5	8.3	5	10	5	6.6	5	10	5	6.6
	コミュニケーション力	質問に対する応答性		質問に対する応答が明快かつ迅速な場合に優位に評価する。	①10 ②5 ③0	10	10	5	8.3	10	10	5	8.3	10	10	5	8.3
実施方針・実施フロー・工程表・その他	業務理解度			目的・条件・内容の理解度が高い場合に優位に評価する。 (1) 業務の目的に即した具体的な記述となっている。 (2) 業務の条件に即した具体的な記述となっている。 (3) 業務の内容(特記仕様書項目)に即した具体的な内容となっている。	①15 ②12 ③9 ④6 ⑤0	15	15	12	14.0	12	15	9	12.0	9	15	9	11.0
	実施手順			業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合、優位に評価する。 (1) 業務フローにおける実施手順が妥当である。 (2) 工程計画と整合している。 (3) CP(コントロールポイント)の記載がある。	①15 ②12 ③9 ④6 ⑤0	12	12	12	12.0	9	12	9	10.0	6	12	9	9.0
	その他			業務に関する有益な提案及び重要事項の指摘がある場合、優位に評価する。 (1) 業務に関する有益な提案がある。 (2) 具体的な重要事項の指摘がある。	①10 ②8 ③6 ④4 ⑤0	10	10	10	10.0	6	8	6	6.6	6	8	0	4.6
特定テーマに対する企画提案 【特定テーマ】 ニセコを訪れるインバウンドに対して旅ナカでウポボイの認知度を高め、1人でも多く送客に繋げる提案について	的確性			ニセコを訪れるインバウンドに対して旅ナカでウポボイの認知度を高め、1人でも多く送客に繋げる提案について、網羅的に記述され、業務を的確に理解している場合、優位に評価する。 (1) ニセコを訪れるインバウンド(特に欧米系)に対してウポボイや西いぶりの効果的なPR方法が記載されている。 (2) ニセコを発着する日帰り周遊バスのPR方法がウポボイへ1人でも多く送客する高い期待の持てる記述である。 (3) 日帰り周遊バスの運行管理体制が安全安心を担保できる。 (4) 日帰り周遊バスの運行日数が40日以上である。 (5) 日帰り周遊バス利用者のアンケート回答率が高められる提案となっている。	①30 ②24 ③18 ④12 ⑤0	18	24	24	22.0	12	18	18	16.0	24	24	18	22.0
	実現性			提案内容に説得力がある場合、優位に評価する。 (1) 提案内容を実現するための具体的手順が記載されており、説得力が高い。 (2) 規模が適切で、実現可能な提案内容である。 (3) 提案内容を裏付ける類似実績が明示されている。	①15 ②12 ③9 ④6 ⑤0	15	15	12	14.0	12	9	9	10.0	9	12	9	10.0
参考見積	業務コストの妥当性			提示した業務規模を上回るか、又は提案内容に対して見積が不適切な場合には特定しない。	数値化しない。	-				-				-			
合 計					145	124	130	109	120.9	100	116	95	103.5	102	124	88	104.5